

ME-07-11

環境経営レポート

(期間2021年4月～2022年3月)



作成日 2022年6月15日

更新日 2022年6月21日

有限会社 丸保商店

有限会社丸保商店 環境経営方針

企業理念

有限会社丸保商店は、廃棄物の収集運搬及び処分を通して地球の環境保全に貢献するとともに、循環型社会の形成にお役立ちする為に継続的な環境改善活動を進めて行きます。また、環境関連法規等を遵守いたします。

- 1、受託する産業廃棄物の再資源化を促進し最終処分量の低減に努める。
- 2、エコドライブによる二酸化炭素排出量の低減に努める。
- 3、水道水使用量の削減に努める。
- 4、電気使用量の削減に努める。
- 5、会社周辺の清掃を実施し、地域の環境保全に協力する。

社内の要所に環境経営方針を掲示して、全従業員にエコアクション21環境経営システムを徹底します。

2010年7月2日 作成
2022年3月25日 改定

有限会社丸保商店
代表取締役 伊藤憲幸

事業の概要

1.事業社名及び氏名

有限会社 丸保商店

代表取締役 伊藤憲幸

2.所在地

(期間2021年4月～2022年3月)

本社・工場	東京都足立区竹の塚二丁目32番17号
神明南リサイクルセンター	東京都足立区神明南一丁目14番23号
資材置場(無人)	埼玉県川口市大字安行吉蔵中道東12他
第1駐車場	東京都足立区竹の塚三丁目14番7号
第2駐車場	東京都足立区竹の塚三丁目17番2号
第3駐車場	東京都足立区保木間五丁目1番18号

3.環境管理責任者及び連絡先

代表取締役 伊藤憲幸

電話 03-3883-4649 e-mail itou@maruho-s.com

4.事業活動の概要

産業廃棄物収集運搬(積替え・保管を含む)

産業廃棄物処分(中間処理) 本社工場 切断圧縮、切断

神明南RC 破砕、切断

5.事業の規模

法人設立年月日 昭和63年12月15日

資本金 7,000,000円

従業員 13人

敷地面積 本社工場 : 172.88㎡
神明南RC : 340.26㎡

廃棄物処理量(2021年4月～2022年3月)

収集運搬量 2880 t

中間処理量 2906 t

売上高 (2021年4月～2022年3月)

2021年度 186,296,000円

6. 対象範囲

全組織・全活動を対象とする

7. 組織図 環境経営システム推進実施体制



役割・責任・権限	
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な資源等を準備。 ・環境管理責任者を任命及び環境経営システム推進実施体制を構築。 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知。 ・環境経営計画表を承認。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・環境経営レポートの承認。
環境管理責任者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 ・環境経営計画表を確認。 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告。 ・環境経営レポートの確認。 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施。 ・環境関連法規等の取りまとめ票の作成。 ・環境関連法規等の取りまとめ票に基づく遵守評価の実施。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐。 ・緊急事態への準備と対応 ・E A 2 1 推進事務局。 ・環境経営レポートの作成、公開。 ・環境活動の実績集計。 ・環境経営計画表の作成。
2階事務所責任者 （取締役伊藤清子）	<ul style="list-style-type: none"> ・2階事務所兼住居における環境活動の一切の権限。
各担当責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・各担当部門における環境経営システムの実施。 ・各担当部門における環境経営方針の周知。 ・各担当部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告。 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理。 ・各担当部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚。 ・決められたことを守り、自主的に環境活動へ参加。

8. 許認可取得状況

許可項目			産業廃棄物の種類																		
許可を受けている 都県・政令市	許可番号	許可年月日	金属くず	ガラス陶磁器	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	がれき類	ゴムくず	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	動植物性残さ	鉱さい	ばいじん	石綿含有物	水銀使用製品	
		許可の有効期限																			
東京都処分（中間処理）	13-20-024825	令和2年6月23日	○	○	○	○	○	○													
本社工場	： 切断圧縮、切断																				
神明南RC	： 破碎、切断	令和7年6月22日	○	○	○	○	○	○	○												○
東京都収集運搬（積替え保管含む）	13-10-024825	令和1年12月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
本社工場	積替え保管施設	令和6年12月14日							●												
神明南RC	積替え保管施設		●	●	●				●			●	●	●						●	●
千葉県収集運搬	01200024825	令和3年8月20日 令和8年8月19日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
埼玉県収集運搬	01101024825	令和1年12月24日 令和6年12月12日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
神奈川県収集運搬	01403024825	令和3年12月22日 令和8年12月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
茨城県収集運搬	00801024825	平成29年8月29日 令和4年7月31日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
群馬県収集運搬	01000024825	令和2年9月16日 令和7年9月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
栃木県収集運搬	00900024825	令和2年9月2日 令和7年9月1日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
宮城県収集運搬	0400024825	令和1年8月12日 令和6年8月11日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福島県収集運搬	00707024825	令和2年4月27日 令和7年4月21日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山形県収集運搬	0609024825	令和2年7月27日 令和7年7月26日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新潟県収集運搬	01509024825	令和2年8月26日 令和7年8月19日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長野県収集運搬	2009024825	令和2年8月12日 令和7年8月11日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山梨県収集運搬	01900024825	令和2年8月12日 令和7年8月11日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
静岡県収集運搬	02201024825	令和2年8月12日 令和7年8月11日	○	○	○	○	○	○	○											○	○
廃棄物再生事業者登録	東京都第149号	平成9年12月17日 （期限無し）	○																		
東京都公安委員会許可	306699701771	機械工具商																			

※ ●は「積替え保管」の産業廃棄物の種類
 ※ 水銀使用製品は許可更新時に順次記載する。



9. 施設の状況等

中間処理施設（本社工場）

処理方法	廃棄物の種類	処理能力	
		単独	混合
切断圧縮	廃プラスチック類	4.1 t/日	5.8 t/日
	金属くず	8.5 t/日	
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	5.3 t/日	
	紙くず	6.3 t/日	5.1 t/日
	木くず	3.1 t/日	
	繊維くず	5.8 t/日	
切断	廃プラスチック類	1.0 t/日	*****
	木くず	0.3 t/日	
	金属くず	18.4 t/日	

中間処理施設（神明南リサイクルセンター）

処理方法	廃棄物の種類	処理能力	
		単独	混合
破砕	廃プラスチック類	3.3 t/日	7.7 t/日
	紙くず	3.0 t/日	
	木くず	4.8 t/日	
	繊維くず	1.2 t/日	
	金属くず	7.1 t/日	
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	12.6 t/日	
破砕	がれき類	4.8 t/日	*****
破砕	廃蛍光ランプ、廃HIDランプ、廃放電ランプ (水銀使用製品産業廃棄物)	*****	1.9 t/日
切断	廃プラスチック類	1.0 t/日	*****
	木くず	0.3 t/日	
	金属くず	18.4 t/日	

積替え保管施設（本社工場）

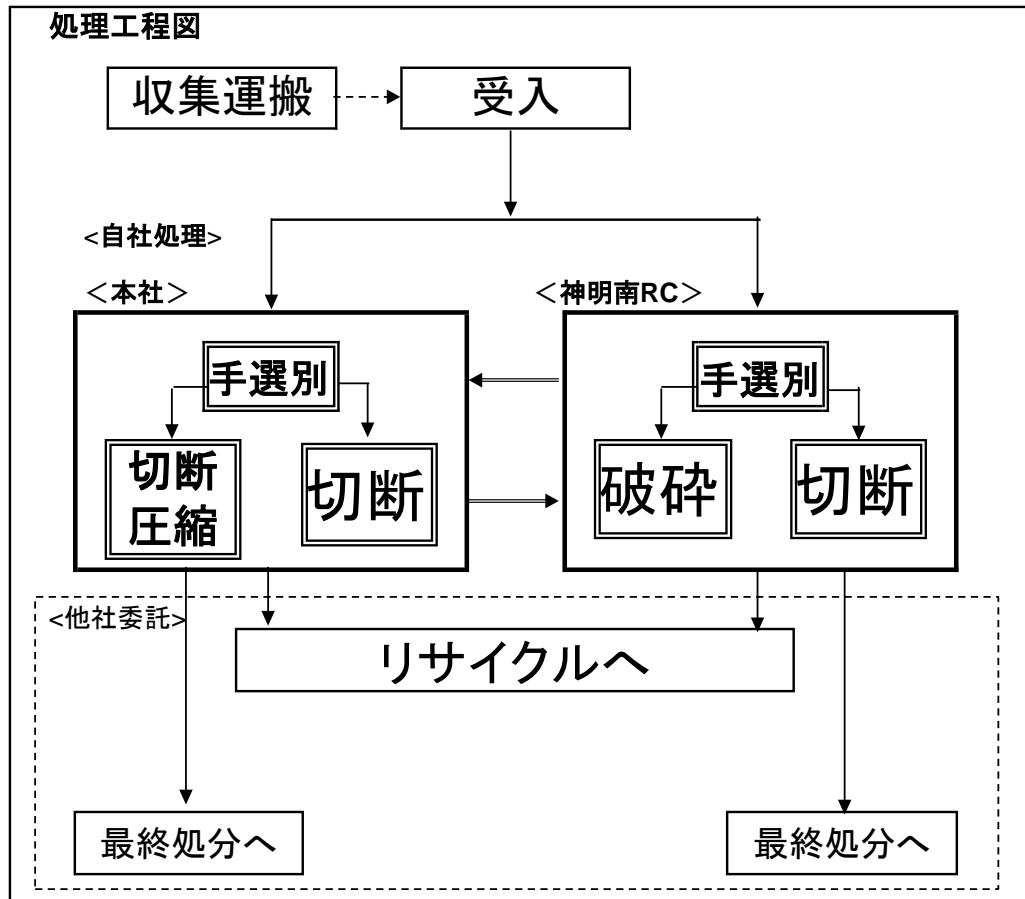
積替え保管面積	廃棄物の種類	保管量	
172.88㎡	がれき類	200L ドラム缶1個	0.20m ³
最大保管高さ：0.9m		合計保管量	0.20m ³

積替え保管施設（神明南リサイクルセンター）

積替え保管面積	廃棄物の種類	保管量	
340.26㎡	汚泥、金属くず（廃乾電池（水銀使用製品産業廃棄物を除く。）に限る。）	20L ペール缶1個	0.02m ³
	汚泥、金属くず（廃乾電池（水銀使用製品産業廃棄物）に限る。）	20L ペール缶1個	0.02m ³
	廃油	200L ドラム缶1個	0.20m ³
	廃油、廃酸、廃プラスチック類、金属くず（廃塗料類に限る。）	200L ドラム缶1個	0.20m ³
	廃プラスチック類、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類（いずれも石綿含有産業廃棄物を含む。）	フレコンバック1個	1.00m ³
最大保管高さ：1.35m		合計保管量	1.44m ³

運搬車両の種類と台数

運搬車両の種類	台数
2トン平ボディー	2 台
2トンパワーゲート付	1 台
3トン平ボディー	3 台
3トンアームロール	1 台
4トン平ボディー	1 台
4トンアームロール	6 台
4トンクレーン付	1 台



廃棄物処理料金

廃棄物の種類、数量、排出場所等により、お見積り致します。
 弊社担当伊藤までご相談ください。 TEL 03-3883-4649
 FAX 03-3859-9010
 E-mail itou@maruho-s.com

10. 環境目標とその実績

10. 1 2021年度実績 (期間：2021年4月～2022年3月)

		基準年度 2020年度	2021年度		
項目	単位	実績	目標	実績	評価
電力の削減	kWh	18,363	18,179	17,826	○
二酸化炭素排出量	kg-CO2	8,117	8,035	7,879	
収集運搬車両の燃費向上	km/ℓ	5.69	5.80	6.42	○
収集運搬車両の燃料使用量	ℓ	17,285	16,940	18,584	×
同 二酸化炭素排出量	kg-CO2	44,596	43,704	47,947	×
水道水の削減	m ³	54.1	54.0	64.5	×
一般廃棄物の削減	kg	15.5	15.0	1.0	○
	kg/月平均	1.29	1.25	0.08	
受託産業廃棄物のリサイクル率向上	%	89.9	90.8	88.0	×
会社前清掃	回/年	24	24	24	○

2021年度 二酸化炭素総排出量 62,314 kg-CO2

* 購入電力についての二酸化炭素排出係数は0.442kg-CO2/kWhを採用
(東京電力エナジーパートナー 2019(平成31・令和元)年度 調整後排出係数)

10. 2 中期目標 (期間：2021年度～2023年度)

		基準年度 2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
項目	単位	実績	目標		
電力の削減	kWh	18,363	18,179	17,996	17,812
二酸化炭素排出量	kg-CO2	8,117	8,035	7,955	7,873
収集運搬車両の燃費向上	km/ℓ	5.69	5.80	5.92	6.03
収集運搬車両の燃料使用量	ℓ	17,285	16,940	16,594	16,248
同 二酸化炭素排出量	kg-CO2	44,596	43,704	42,812	41,920
水道水の削減	m ³	54.1	53.6	53.0	52.5
一般廃棄物の削減	kg	15.5	15.0	14.9	14.7
	kg/月平均	1.29	1.25	1.24	1.23
受託産業廃棄物のリサイクル率向上	%	89.9	90.8	91.7	92.6
会社前清掃	回/年	24	24	24	24

* 購入電力についての二酸化炭素排出係数は0.442kg-CO2/kWhを採用
(東京電力エナジーパートナー 2019(平成31・令和元)年度 調整後排出係数)

11. 主要な環境経営計画の内容と評価
2021年度目標とその実績についての計画と評価

取組項目	達成状況	評価(結果と今後の方向性)
<p>電力の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネシールを活用し節電を促す ・無駄な電気は消す(退室時・昼休み) ・空調温度の適正化 (冷房28℃前後・暖房20℃前後) 	<p>目標: 18,179kWh/8,035kg-co2 実績: 17,826kWh/7,889kg-co2 (目標比約-1.9%)</p>	<p>達成できた</p> <p>受託廃棄物量が増加している中で、電力使用量が目標を達成できたのは、節電意識が定着してきたものと考え、今後も取組・意識付けを継続していく。</p>
<p>収集運搬車両燃料の燃費向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ10のすすめの実施 ・各車両毎の燃費を月毎に算出 ・アイドリングストップ ・低燃費車両の活用 	<p>目標: 5.80km/ℓ 実績: 6.42km/ℓ (目標比約+11%)</p>	<p>達成できた</p> <p>適切な整備、運転時のエコドライブの徹底等の取組と意識付けを継続していく。</p>
<p>水道水の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節水シールを貼り節水を促す ・ホースの先に散水弁を付ける 	<p>目標: 54.0m³ 実績: 64.5m³ (目標比約+19%)</p>	<p>達成できなかった</p> <p>粉じん対策として散水は不可欠だが、効果的な散水等を強く意識し、節水への取り組みを継続する。</p>
<p>一般廃棄物の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙の裏紙を使用する ・廃コピー用紙のリサイクル ・ペットボトルのリサイクル 	<p>目標: 15.0kg 実績: 1.0kg (目標比約-93%)</p>	<p>達成できた</p> <p>紙類を廃棄する際にはリサイクルしているため、環境への影響は最小限に留めている。この取り組みを継続する。</p>
<p>受託産業廃棄物のリサイクル率向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規リサイクル業者の開拓 ・リサイクルできるものの教育・周知徹底 ・リサイクル可能、不可能のサンプル写真を作成し事務所に備える 	<p>目標: 90.8% 実績: 88.0% (目標比約-2.8ポイント)</p>	<p>達成できなかった</p> <p>廃棄物の状況に左右されるものの、1回1回の分別作業を丁寧に行うことで、より適切なりサイクルを実現し、目標の達成に向け取組を続ける。</p>
<p>会社前清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月2回、会社周辺の一斉清掃 ・清掃チェックリストの作成・使用 	<p>目標: 年24回以上 実績: 年24回 (目標比+-0回)</p>	<p>達成できた</p> <p>毎月定期的に取り組むよう、社内の意識定着を図る。</p>

12. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

弊社に適用される主な環境関連法規は以下の通りで、これらへの違反はありませんでした。
なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

適用環境関連法規等	違反の有無
東京都環境確保条例	無し
騒音規制法	無し
振動規制法	無し
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	無し
足立区廃棄物の処理及び再利用に関する条例	無し
建設リサイクル法	無し
自動車Nox-PM法	無し
自動車リサイクル法	無し
家電リサイクル法	無し
資源（パソコン）リサイクル法	無し
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（水銀使用製品産業廃棄物）	無し
小型家電リサイクル法	無し

13. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果（2021年4月～2022年3月）

前回の指示への取組結果

前回の指示事項	取組結果
1. 2020年度実績を基準として目標を策定し、3か年計画で電気使用量、化石燃料使用量の削減、リサイクル率の向上を図ること	電気使用量と収集運搬車両燃費は向上したものの、化石燃料使用量とリサイクル率は目標を達成できなかった。
2. 神明南RC電力削減等について、環境目標を達成するべく、さらに充実した取組内容を検討すること	受託廃棄物量が増大した中で、目標を達成できたことは、取組の充実と高い意識付けの効果と思われる。
3. 環境経営レポート許認可取得状況に「水銀使用製品産業廃棄物」を追加し（東京都含他各県）許可更新時に順次記載すること。	許可更新にあわせて、順次記載している。（継続）

今回の評価結果

見直しに必要な情報 （環境管理責任者の報告事項）	代表者の評価結果 （有効に機能しているか、適切に実施されているか）
1. 環境目標の達成状況 電力：目標比約-1.9%：達成 産廃：目標比-2.8ポイント：リサイクル率未達成 水：目標比約+19%：未達成 一廃：目標比約-93%：達成 燃料：目標比+11%：燃費目標達成	<電力> 受託廃棄物処理量が基準年度比で約29%増加している中、電力使用量が目標を達成できたのは、各節電項目に強い意識をもって取り組んでいる成果と判断できる。次年度も機械類の無駄のない使用を心がけることを期待している。 <産廃> リサイクル率については、意識の向上、可否判断の徹底をして目標達成を目指すこと。
2. 環境活動計画の実施及び運用結果 電力：神明南RCの受入処理量増加が消費電力増につながった 産廃：選別の徹底を行ったものの、再生不可物の受入が多量だった。 水：効果的な散水を行った。 一廃：分別ボックスの常設が効果を示している 燃料：配車管理と車両メンテナンスを実施した	<水> 水道水使用の中心である粉じん防止では効果的な散水を心がけているが、処理量の増減に影響される。引き続き節水意識向上に努める。 <一廃> 紙類の排出については、分別を徹底しリサイクルに回す取組を今後も継続する。 <燃料> エコドライブ10の実施活動に加え、配車管理において低燃費車を活用するなど、これまでの取組みを改めて意識し、さらなる燃費向上を目指すこととする。
3. 環境関連法規等の遵守状況 関連する環境法規等の改正を調査確認。	環境法規の改正を確認した。 遵守評価を2022年3月25日に実施した。
4. 外部からの環境に関する苦情・要望	神明南RCの騒音・振動について苦情があった。作業時の鉄扉閉を継続するのに加え、防振マット上での作業や、防音工事などの対応をした。

環境管理責任者への指示内容

指示項目	変更する 必要性判断	代表者の指示内容（5W1Hで）
1. 環境経営方針	有 <input checked="" type="radio"/> 無	・継続する
2. 環境経営目標	有 <input checked="" type="radio"/> 無	・2020年度実績を基準として目標を策定し、3か年計画で電気使用量、化石燃料使用量の削減、リサイクル率の向上を図ること
3. 環境活動計画	<input checked="" type="radio"/> 有 無	・神明南RC電力削減等について、環境目標を達成するべく、さらに充実した取組内容を検討すること
4. 実施体制の構築	有 <input checked="" type="radio"/> 無	・継続する
5. 環境経営システム（上記1, 2, 3, 4以外）	有 <input checked="" type="radio"/> 無	・環境経営レポート許認可取得状況に「水銀使用製品産業廃棄物」を追加し、許可更新時に順次記載すること（継続）

総括

2021年度は受託廃棄物量が前年に比べ約3割増加し、繁忙状態が数か月にわたり継続したが、処理の中心である神明南RCの電力使用量、収集運搬車両の燃費という、主要な取組でそれぞれ目標を達成する取組ができたことは、環境負荷低減を意識づける環境教育の成果といえる。もうひとつの重要な取組である受託廃棄物のリサイクル率向上も達成を目指し、次年度も取り組むこととしたい。引き続きエコアクション21活動に対する意識の向上と地域の環境保全に貢献できるように進めていく。
--